

令和5年度関東高等学校男子バスケットボール大会
兼 第77回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会
＜Aブロック 2回戦＞

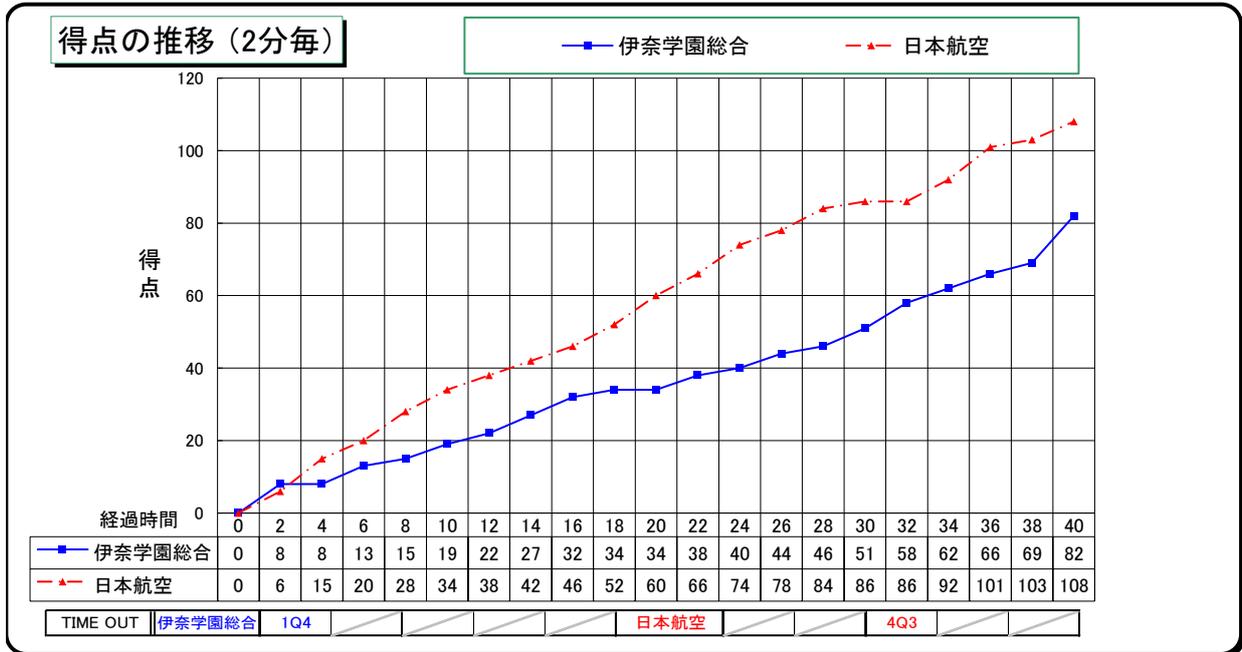
令和5年6月3日(土)	アダストリアみとアリーナ	大会1日目	Aコート	第6試合 16:30～
<チームA> 伊奈学園総合 埼玉		82 { 19 1Q 34 15 2Q 26 17 3Q 26 31 4Q 22 }		<チームB> 日本航空 山梨

主審: 内野 翔太 (群馬) 第1副審: 松永 航平 (東京) 第2副審: 鈴木 孝一 (茨城)

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
◎	4	田島 隼翔	12		2	5	14	2	2	1	7	2	
◎	5	谷 悠季	11	3	8	1	4						1
◎	6	佐藤 龍二	13			6	14	1	2	1	4	3	
◎	7	町田 隼	10	2	6	1	10	2	2	1	1	5	2
○	8	牛山 泰輔	8			3	4	2	2	1	3	4	1
◎	9	薄葉 優一郎	12		1	6	15		2		1	1	1
○	10	鎌田 響											
	11	久志本 楓											
○	12	小倉 俊哉	2		2			2	2	1			
	13	坂本 遼介											
	14	平川 諒晟											
	15	小林 海智											
○	16	早川 琉翔	9	3	7		1				1	2	1
○	17	川島 一斗	5	1	2		1	2					
	18	齋藤 響樹											
		コーチ 尾石 久											
合計			82	9	28	23	64	9	12	5	17	17	6

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
○	0	西田 壮良											
○	1	藤野 仁喜	6			3	6						1
◎	7	青木 王哉	8		1	4	5						3
◎	9	福岡 恭輔	15			7	8	1	2				2
○	10	山崎 柊威	3	1	3								
◎	23	オルワベルミ・ジェラマイア	24		2	12	13			1	1	12	2
◎	30	大道 一步	16		2	8	14		2				12
○	33	大矢 颯太	4			2	2						
○	34	久保田 楓羽						1		1	1		
◎	58	中西 哲太	10	2	7	2	2			1	1	3	3
○	66	酒井 基充											
○	70	林 天創								1	1		
○	77	高橋 蓮夢								1	1	1	2
○	87	須崎 優斗	2			1	2						2
○	99	三村 デール アンソニー	20			10	14		2	4	4	3	1
		コーチ 山本 裕											
合計			108	3	15	49	67	1	6	9	9	39	17

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート / 2P:2点シュート / FT:フリースロー / F:パーソナルファウル



戦評 記入者: 長沼 和希

関東大会2回戦、伊奈学園総合(以下、伊奈)と日本航空(航空)のゲーム、両チーム共に1回戦を終えての本日2ゲーム目となる。

第1Q伊奈はオールコートマンツーマン、航空はハーフコート2-3ゾーンでスタート。開始から航空#23ジェラマイアが好調で、ドライブインからの得点、ディフェンスリバウンド、ブロックを成功させる。伊奈は開始2分で#7町田と#6佐藤がそれぞれ3Pを確実に決める。開始3分、航空は伊奈のタフなシュートを見逃さず、ディフェンスリバウンドから連続して速攻を繰り返す。ここで伊奈は1回目のタイムアウト。航空は速攻を緩めず、ディフェンスリバウンドから立て続けに速攻を繰り返し、加えて#58中西の2連続3Pで点差を広げる。直後、伊奈は素早いパス回しでディフェンスを翻弄し始め、#5谷が3Pを決める。残り3分半の所で速攻から航空#23ジェラマイアのダンクシュートが炸裂。更に連続でダンクシュートを成功させ、呼吸するように航空の速攻に更なる勢いが増し、得点を量産。航空の流れのまま19-34航空リードで1Qを終える。

第2Q伊奈はディフェンスを2-2-1のゾーンプレスと2-3ゾーンに変更。開始10秒で伊奈#5谷が3Pを決める。伊奈はスクリーンプレーやポストプレーを使ってディフェンスを崩しにかかるが、依然として航空の堅守は揺るがず。航空は2-3ゾーンの要、#23ジェラマイアを#99三村に交代すると、ポストプレーから連続得点を演出。伊奈の2-3ゾーンから確実に得点をあげる展開に、残り4分を切ったところで航空はディフェンスを3-2ゾーンに変更。これに対して伊奈はショートコーナーやハイポストを効果的に使いシュートを打つが、ジャンプシュートを決めきれず。航空はクォーターの最後まで速攻を連続し続け、点差を更に広げる。34-60の航空リードで折り返しへ。

第3Q航空はハーフコート2-3ゾーン、伊奈はハーフコートマンツーマンに変更。伊奈は巧みなパス回しとドライブインから果敢にシュートを打つが、ペイントエリア内のシュートはほとんど#23ジェラマイアのブロックやシュートチェックに阻まれる。伊奈のディフェンスがハーフコートに変更されたことから、航空の速攻の機会は大幅に減ったが、アウトサイドプレーヤーのドライブインやカットインから#23ジェラマイアが華麗に合わせる得点を量産。ダンクシュートやタップでの得点も多く見られた。航空は前半同様、#23ジェラマイアと#99三村を交代しディフェンスを3-2ゾーンに変更。この時間帯も航空の鮮やかなハーフコートオフェンスは全く衰えず。51-86の航空リードで最終クォーターへ。

第4Q伊奈はシュートチャンスを確実にものにし、流れに乗ると、すかさず航空タイムアウト。航空はディフェンスを2-2-1のゾーンプレスに変更し、連続でスティールを決める。一方伊奈は徐々にこのディフェンスに順応し、鮮やかなプレスダウンから#4田島が確実に2点を決める。その後はお互い一歩も譲らず点の取り合いに。リバウンド争いも白熱した展開になる。試合終盤伊奈は#17川島のプザービーターの3Pを決めるが、最後まで伊奈は点差を縮めることができず82-108で航空が勝利。準決勝進出となった。